

全学型キャリア教育の導入と今後の最適化に向けて

大阪国際大学
基幹教育機構／キャリアサポートセンター 講師
森本康太郎



1 大学の概要

大阪国際大学は、1929年に創立された帝国高等女学校を母体とし、2019年に学園創立90周年を迎えた。現在、経営経済学部（経営学科、経済学科）、人間科学部（心理コミュニケーション学科、人間健康科学科、スポーツ行動学科）、国際教養学部（国際コミュニケーション学科、国際観光学科）の3学部と、大学院、短期大学部ならびに留学生別科を設置している。

本学は、キャリア教育科目の企画調整を担うキャリア教育センターと、就職支援業務を担う就職部を統合し、学生のキャリア形成支援を総合的に担当する部門として、2019年にキャリアサポートセンターを設置した。

また、教学組織として、教養教育を主管する基幹教育機構のもとにキャリア教育部会が置かれ、キャリアサポートセンター所属の教員と各学部学科所属の教員の協業のもと、キャリア教育科目ならびにインターンシップ科目等の教材開発、運営管理等を担っている。全学委員会としては、各学部学科から選出された教員とキャリアサポートセンター教職員で構成される就職委員会が設けられ、学生の進路就職状況の情報共有や、キャリア形成支援に関する意見交換が行われている。

2 本学におけるキャリア教育

本学におけるキャリア教育は、2017年度の人間科学部入学生より新教育課程に再編して展開している。各学部の改組に伴い、2018年度より経営経済学部、2019年度より国際教養学部の新入生に展開し、現在すべての学部学科で新教育課程でのキャリア教育科目が導入されている。

特徴としては、第一にキャリア基礎Ⅰ・Ⅱ、キャリアデザインⅠ・Ⅱの4科目が共通基礎科目として必修化されている点、第二にキャリア基礎Ⅰ・Ⅱでは各学部学科所属の教員がキャリアサポートセンター所属の教員と協働して科目を担当する点、第三にキャリアデザインⅠ・Ⅱではキャリアサポートセンター所属の職員が非常勤講師として一部科目を担当する点、が挙げられる。また、2019年度より基幹教育機構にキャリアサポートセンター所属の専任教員が配置され、キャリア教育科目のさらなる内容充実や教育効果の検証に取り組んでいる。

3 本学におけるキャリア支援

各学部学科でのセミナーごとに、キャリアサポートセンター職員の担当を配置しているため、学生は毎回固定した担当職員に支援を受けることができ、個別支援では、自己分析をはじめ、

求人情報、業界・企業情報、卒業生の受験情報の提供、応募書類の添削、模擬面接などをきめ細かく行っている。

また、各種対策講座（履歴書、SPI、業界・企業研究、グループディスカッション、集団面接）を実施して具体的な就職活動スキルの獲得を後押しするほか、オンキャンパスでの合同業界説明会・単独企業説明会を企画運営し、職業理解と応募行動の促進を図っている。

4 キャリア教育の今後の展開

前述のように必修科目として全学展開するキャリア教育については、さらなる最適化に向けたカリキュラム改革も視野に入る。

例えば、低年次のキャリア教育に求められる内容・機能と、初年次教育との関連を検討する余地がある。また、実際の社会課題に触れることで大学での学びを社会と結び付けて考えるために、プロジェクト型学習（Project-Based Learning: PBL）の教育手法や、産学連携による教育資源の活用も視野に入る。これについては現在、試験的導入に向けて準備を進めている。

所属や職種の垣根を超えた協働による全学型のキャリア教育としての到達点を踏まえたうえで、学生一人ひとりの希望を実現できるよう、キャリア教育・支援を充実させていきたい。